



11月13日

部員	112名	新入会			
U12	25名				
U11	27名				
U10	22名	市枝 暖大	イチエダ ヒナタ	(西落合小学校)	
U9	11名				
U8	14名				
U7	13名				



サッカーは1人ではできない、チームスポーツです。

いろいろな得意(とくい)なプレーや不得意(ふとくい)なプレーがある人たちが  
集まってチームになります。

チームの仲間のことをみんな知っていますか？  
何が得意なんだろう？何が上手(じょうず)な選手なんだろう？

キックやドリブルやトラップが上手、リフティングがたくさんできる、足が速い、反応が速い、スペースを作れる、体力がある、声が出せる、いつも全力でプレーする、ボールをこわがらない、勇気(ゆうき)がある、ありがとうやゴメンがちゃんと言える、コーチや仲間の話をしっかりと聞ける、準備や片付けのお手伝いが自分からできる、いつも楽しそう、いつも笑顔、だれとでも仲良くなれる…  
まだまだたくさんあります。

みんなには得意なことや良い所がたくさんあります。仲間の良い所のマネをすることや上手な仲間から教えてもらうことは自分も仲間もレベルアップします。

仲間のことを知ることでパスの出し方やカバーの仕方、声のかけた方も変わってきます。



仲間のプレーもよく見てみよう！

U8U7担当 下村コーチ

「叱らない」が子どもを苦しめる 藪下遊・高坂康雅 著 筑摩書房

須磨ナイスサッカークラブの指導者は、とっても優しい方ばかり。

だけど、できるのに頑張らなったり、相手をリスペクトしていなかったりすると叱ります。“ほめる”ことを大切に！子育てでよく言われる言葉です。

子どもが育つ魔法の言葉として

「けなされて育つと子どもは人をけなすようになる。

とげとげした家庭で育つと子どもは乱暴になる」

というようなことはよく聞きますね。

怒鳴りつけたり、手を出したりすることは、良くないことは分かります。

でも叱ってはいけません！とは言っていないわけです。

表題にある本では、思い通りにならないことに

耐えられない子どもたちについて書かれています。

最近、自由にさせてあげた方が良い、叱るのは、かわいそうという風潮があります。

しかし、適切に叱られ、止められ、いさめられることによって

子どもの心は成熟していくことも理解しておきたいですね。

この本では「世界からの押し返し」という表現をしています。

子どもたちが経験する「思い通りにならないこと」、

保護者や指導者ができる適切なサポートって何だろう。

ここからの時代に一度振り返ることも大切かもしれません。

監督 U8コーチ 有持哲治



「サッカーを通じて子どもたちに笑顔を♪」

【手をかけ過ぎず、眼をかけて】

大切な子どもたち！まずは健康第一！ 育てて成長

声かけ励まし支えあいましょう！

『子は宝 他人も我が子 地域の子』

代表BGM 藤井さち代